

メディア掲載情報

媒体名	BICYCLE CITY
掲載号	2016年5月号
掲載日	2016年4月30日
掲載内容	D-NA広告 他(CESTALOCK・・・)

KATZDEN ARCHITEC



CLIPタイプ(金属タイプ) CLIPタイプ(木タイプ) Cタイプ

**景観配慮型
サイクルスタンド
デイナー。**

**D-NA
Cycle Stand**

CESTA(チェスタ)
スポーティで安定感のあるサイクルスタンドです。NEW

SQUARE(スクエア)
並び替えによりいろいろなレイアウトが可能です。NEW



CESTA(チェスタ) SQUARE(スクエア) PMタイプ

※社は景観に配慮したサイクルスタンドをデザイン開発しています。お気軽にご連絡ください。

大好評！ 図面を無料でダウンロード <http://www.kdat.jp>

カツデンアーキテック株式会社

東京本社・豊穀営業所 / 〒110-0015 東京都台東区東上野2-14-1 マルコーセンタービル8F TEL: 03-5812-2291(代) FAX: 03-5812-2297
 大阪営業所 / 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-9-30 MF桜橋ビル10F TEL: 06-6345-2415 FAX: 06-6345-2416
 名古屋営業所 / 〒460-0026 名古屋市中区伊勢山2-11-15 A.Sビル金山4F TEL: 052-332-6055 FAX: 052-332-6068
 仙台営業所 / 〒984-0011 仙台市青林区六丁の目西町8-1 斎宮センタービル5F TEL: 022-390-0121 FAX: 022-390-0124
 横浜営業所 / 〒223-0052 神奈川県横浜市長北区綱島東1-10-7 船屋ビル3F TEL: 045-642-7866 FAX: 045-642-7820
 北関東営業所 / 〒367-0111 埼玉県児玉郡美里町古郡土井下667-7 TEL: 0495-76-3675 FAX: 0495-76-3896



本記事の内容は雑誌・媒体掲載時の情報です。
 発表内容・製品仕様など発表当時と現在とで異なる場合があります。
 あらかじめご了承ください。

街に、公園に、商業施設に、



景観配慮型自転車用ラック

電磁ロック式ラック チェスタラック
CESTA LOCK

- タイヤをしっかりと保持することで多様な車種に対応
- 実績のあるロック機構を採用
- LED 取付やカラー変更も可能



※前タイヤを保持する構造ですが、前カゴには干渉しません

DENKEN 株式会社デンケン 【URL】 <http://www.dkn.co.jp/>

大分本社 〒879-5513 大分県由布市挾間町高崎97番地1 TEL:097-583-5535 FAX:097-583-5580
東京営業所 〒120-0013 東京都立区弘進二丁目12-25サンマンション五反野105号 TEL:03-6806-3755 FAX:03-3840-7575
大阪営業所 〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町2-3-12エディビル2F TEL:06-6280-5925 FAX:06-6265-6914

SERIES 地方創生と自転車を活用した街づくり 5
自転車政策で個性を発揮し始めた地方自治体

神奈川東西地域

観光・ショッピング・ビジネスに!
神奈川県西地域でコミュニティサイクル
“Let's Bike”が誕生!

東京都4区や主要都市、神奈川県内では横浜市も行なっているコミュニティサイクルが、神奈川県西地域でもスタートした。県西地域待望のコミュニティサイクル“Let's Bike”と、同地域の自転車の盛り上がり取材した。



小田原駅前配備された“Let's Bike”の自転車

小田原駅観光に最適なLet's Bike



専用ICカード、交通系ICカード、おサイフケータイを鍵として利用可能

GPS機能搭載。神奈川県西地域に導入された次世代コミュニティサイクル

小田原、箱根などの観光資源が点在する神奈川県西地域。近年では、箱根や丹沢などのヘルカムコース、足柄平野エリアでのサイクリングコース、また自転車のマンガ・アニメの舞台として、サイクリストの人氣が高まっている。その神奈川県西地域に、2月28日、コミュニティサイクル

“Let's Bike”が誕生した。サービス開始時には小田原駅前、新松田駅前、山北駅前の3つのサイクルポートがオープン。3月には4基目のポートが開成駅前にも開設された。運営事業者は、駐輪場の運営システムを手がける川崎市の東海技研。同社は将来的にサイクルポートを8つまで増やし、

107台の自転車を設置する計画だという。

Let's Bikeで使用する電動アシスト自転車はNTTドコモの次世代サイクリングシェアシステムを採用。通信機能やGPS機能、遠隔制御機能が自転車本体に搭載されており、自転車本体の力で貸出・返却・補錠などの管理が完結する。料金は1日1000円の“1日プラン”と、最初の4時間が500円

Class-up クロスアップ



秋葉原UDXのコミュニティサイクルポートは駐輪場外側に沿って設置されている

コミュニティサイクル事業とも連携

NTT都市開発では、オフィスビルに自転車通勤のための専用スペースを設けるだけでなく、ビルをコミュニティサイクルの

ポートとして活用することにも取り組んでいる。これも「オフィスビルの付加価値向上のひとっぴこ」になる「関根事業企画部長」と見ているからだ。

この一環として、同社では2015年2月、NTTドコモ、NTTアーク、NTTファシリティ&共同で「ドコモ・バイシェア」を設立した。新会社では、これまでNTTドコモが取り組んでいた自治体のコミュニティサイクル事業に加え、オフィスビルやマンションなど民間施設でもコミュニティサイクルを実施していく方針。

さらに、他のコミュニティサイクル事業者へのシステム提供やコンサルティング業務なども展開している。

NTT都市開発ではコミュニティサイクル事業も不動産開発、都市開発の一環としてとらえており、今後、コミュニティサイクル事業との連携も視野に入れ

ながら、オフィスビルや住宅事業を展開していく考えだ。

本社ビルにコミュニティサイクルのポート

NTT都市開発では昨年3月、本社のある「秋葉原UDX」(千代田区外神田4-14-1)の1階にあるUDX駐輪場(通常・駐車場総合研究所)の外側部分にコミュニティサイクル「ちよくる」のポートを設置している。

同ポートは24時間稼働で千代田区、港区、中央区、江東区の4区相互乗り入れが始まったこともあり、利用率が非常に高い状況だという。

同社ではこの他、青山地区でも再開発プロジェクトの中で、同地域も自転車の利用が多いことから、自転車を活用したオフィス・商業、住宅地区にすることも念頭に置いて具体的な計画を立てている方針だ。



「ちよくる」と事業企画部運営担当の土屋祐美さん。この日は1台残らず貸し出されていた

新設バイシクルフェスタ2016で展示された東京都市の自転車シェアリング。参加体験型実践型の自転車安全教室は効果的な教育方法だ



自転車に関わる者に期待される役割

改定東京都自転車安全利用推進計画の多岐にわたる実施事項

の中で、今回の主な実施事項は、「成人層への広報・啓発の強化」、「特に危険な違反行為等に対する取り締まり、指導等の強化」「ヘルメットの普及啓発の強化」など。下図のようにそれぞれが課題に直面しているが、各主体が啓発、指導等の取り

組みを推進することで、課題の解決を図ることが可能だ。自転車の安全利用に対する社会的関心が高まっている現在は、自転車の安全教育の推進、安全

利用に対する意識を浸透させる絶好の機会だ。そのために、自転車に関わるすべての者には、期待される役割を果たしていくことが求められている。



レンタサイクル、コミュニティサイクル、シェアサイクルは、各自が自転車に乗る人々と自転車と接する機会が多くなる。駐輪場・貸出時は利用者にも交通ルール・マナー、自転車の安全利用等を啓発するチャンスだ。

主な課題と対策		課題解決への取り組み	特に注目すべき具体的な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全確保に自転車利用者にも関与の徹底が求められる ○ 啓発の徹底が求められる ○ 安全確保の徹底が求められる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ヘルメットの普及啓発が求められる ○ 危険な違反行為等に対する取り締まり、指導等の強化が求められる ○ ヘルメットの普及啓発が求められる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成人層への広報・啓発の強化 ○ シェアサイクル・レンタサイクル等の普及 ○ 一般市民による啓発活動の推進(安全利用の徹底啓発等) ○ 自転車安全文化推進委員会による啓発の推進・連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ヘルメットの普及啓発の強化 ○ 危険な違反行為等に対する取り締まり、指導等の強化 ○ シェアサイクル・レンタサイクル等の普及



本記事の内容は雑誌・媒体掲載時の情報です。
発表内容・製品仕様など発表当時と現在とで異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。